

■ OHISと歯周病新分類の比較 (重要ポイント総まとめ)

項目	OHIS (リスク評価)	歯周病新分類 (2018)
目的	リスク評価 (予測)	診断 (現状の分類)
評価の視点	将来のなりやすさ・悪化しやすさ	現在の破壊の程度 + 進行速度
時間軸	過去・現在・未来	現在中心
分類方法	スコア化 (低・中・高リスク)	Stage (I~IV) + Grade (A~C)
「中等度・重度」の意味	危険度の高さ	組織破壊の大きさ
評価項目	来院歴 プラーク、出血、ポケット、骨吸収、喫煙、糖尿病など	CAL、骨吸収率、歯の喪失、咬合崩壊など
リスク因子の扱い	スコアに反映	Gradeに反映
臨床での役割	予防・メンテナンス計画	診断・治療方針決定

■ 「中等度・重度」の違い (核心だけ抽出)

観点	OHIS	新分類
中等度	中リスク (悪化の可能性あり)	Stage II (中等度歯周炎)
重度	高リスク (将来悪化しやすい)	Stage III・IV (高度破壊)
判定基準	複数要因の合算	主にCAL・骨吸収などの客観値
本質	未来の危険度	現在のダメージ量

■ まとめ

- OHIS = **リスク (未来)**
- 新分類 = **重症度 (現在)**
- 「中等度・重度」は **意味が違うので一致しない**

状態	OHIS	新分類
まだ軽度だが生活習慣が悪い	高リスク (重度寄り)	Stage I~II
かなり破壊されているが管理良好	中リスク	Stage III